

3桁 簡易型 バージョン 2.01

大声測定器

今も昔も変わらぬイベントの定番
コントローラ一体型で設置簡単 操作簡単
ユニークなテーマで叫んでみてください。
ストレスも発散できます。



取扱説明書

2018年5月11日



〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話:(088)843-1601 携帯:090-3041-6033

WebSite: <https://shikokudenshokukogei.jp/> E-Mail: info@shikokudenshokukogei.jp

ご利用のお客様へ（かならずお読みください）

弊社の機材レンタルサービスは、この取扱説明書の**注意・約束**を守ってご利用頂ける方を対象にしております。機材をフルに活用するには知識が必要となります。この取扱説明書には初めての方でも、簡単にご利用頂けるよう作成しておりますので最後まで必ず目をお通しください。

まず機材を受け取られましたら、**同梱の「機材チェックシート」**を用いて、機材の**数量、状態を確認**してからご利用ください。また、**利用後も同様に確認**したのちにご発送ください。**不具合や破損などを確認した場合は、その旨をお知らせください。**



機械ですから乱暴な扱いや指示にない使い方をすると壊れる場合もあります。万が一トラブルでご連絡を頂いても取扱説明書を読んでいない方へのサポートには限界があります。

また、電話を掛ければ、いつでも十分なサポートを保障するといった体制は取っておりませんので事前に余裕を持ってテストし機械の扱いに慣れてください。いいイベントが出来ることをスタッフ一同願っております。

四国電飾工芸

注意事項

- ◇ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- ◇ 本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ず取扱説明書をお読みください。
- ◇ 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記入漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご一報ください。
- ◇ 弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、本書の不審点や誤り、記載漏れに関わらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◇ 本製品の故障などにより、人身事故、火災事故、社会的な損失などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

— 目 次 —

Page	内 容
Page 1	表紙
Page 2	ご利用のお客様へ (かならずお読みください)
Page 3	目次
Page 4	1. はじめに 安全にご利用頂くための重要事項 使用上のご注意
Page 5	2. 大切な電源について
Page 6	3. バージョン2 4. バージョン2.01に追加された機能
Page 7	5. 設定が詳しくわからない時の設定はこれで!
Page 8	6. 液晶画面の表示と動作内容
Page 9	6. 液晶画面の表示と動作内容
Page 10	7. 機材の内訳
Page 11	8. 組立図
Page 12	9. 組立手順
Page 13	9. 組立手順
Page 14	10. 設置に関する注意事項
Page 14	11. コネクタの接続方法
Page 15	12. 表示器パネルの説明
Page 16	13. 表示液晶パネルの説明
Page 17	14. リモコンスイッチとタイミングランプ
Page 18	15. 2種類の操作モード
Page 19	16. 表示
Page 20	17. 大声測定の注意
Page 21	17. よくある配置
Page 22	17. 手動操作による進行例
Page 23	17. 各機材の寸法と重量
Page 24	17. あと片付けのお願い
Page 25	18. 機材チェックシート (見本)
Page 26	19. よくある質問と答え
Page 27	よくある質問と答え お問い合わせ先

1. はじめに

■安全にご利用いただくために！

突風が吹く、子供が周囲を走るなど表示器の転倒が予想されるシーンでは、転倒防止対策を施してください。配線に足を引っ掛けて転ぶことが無いように、人の動きを予測して配線ルート工夫やテープ（養生テープ）などを使って固定してください。ただし、紙テープ（クラフトテープ）の使用は粘着剤で汚くなるので使用しないでください。

屋外など風の影響を受ける場所では、スタンドの利用をやめ長机への配置やスタンドを柱などに固定するなど万が一に備えてください。

テレビ番組のようにスムーズな進行を行うためには、機器の機能を十分に理解して、司会者を含めリハーサルを行い本番のイメージをすることが大切です。特に参加者は思いもかけない行動をとるのでスタッフは事前の説明だけでなく本番中も注意を払ってください。

□ 使用上のご注意

- この取扱説明書に従い正しく”やさしく”操作してください。
- 取扱説明書を読まずに電話で安易に問い合わせをするのはやめてください。
- 機能を理解しないで操作すると想定外の事態に”不愉快”になることもあります。
- 落とせば壊れます。乱暴に扱くと機械も”不機嫌”になります。
- 取扱説明書の指示にない接続をすると壊れることもあります。
- 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動中や輸送時には大きな衝撃が加わらないよう丁寧に扱ってください。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所や高温になりやすい場所をさけ、なるべく日影で通気性の良い場所でご使用ください。 レジャー用の熱反射シート等を用意して対策を施してください。
- 電圧の安定しない発電機でのご利用はお止めください。
- 電源の詳細については「■大切な電源について」を参考にしてください
- 異常な音や異臭が生じた際は、利用を中止し電源コードをコンセントから抜いてご連絡ください。
- 長時間利用しない時は、電源を切り電源コードもコンセントから抜いてください。
- 故障や感電事故を防止するとともに、性能を維持するためにも絶対にケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理・改良が必要なときには事前に許可を得てください。

2. 大切な電源について

- 電源には家庭等で使われる「一般電源」、会館などで照明の電源として用いる「調光電源」、ほかにもお祭りなど仮設会場で使われる「発電機による電源」などいくつかの種類があります。「一般電源」以外でも調節により 100V 50Hz/60Hz を供給することができます。ただし、タコ足配線や長いコードで接続すると本来の電圧が得られなくなり機器が正常に動作しない場合があります。
- 電線には抵抗があるので負荷（機器）を接続して電流を流すと電圧を降下させます。実際の電圧は負荷を接続した状態で測る必要があります。テスターで 100V（無負荷電圧）あっても電球を点灯させたりすると電圧は降下します。それを防ぐには流す電流は少なくして短く太く接続箇所を少なく接続する必要があります。
- 電気ドラム等を利用して長い距離を引きまわす場合は、電気容量の大きな（7 A → 12 A → 15 A）を利用することで電圧降下を防ぐことができます。
- お祭り会場などで電気ドラム 30m を 3 本つないで 90m で機器を接続した場合に動作しない。これも弊社の機材専用の電源であれば負荷（電気使用量）が小さいので殆ど問題はありませぬ。しかし電球などと一緒に使用すると元のコンセントでは 100V あっても 90m 離れた場所では 80V 以下となることがあります。



- 特に古い発電機の中には電圧変動が大きなものやノイズが加わり正常の動作しないこともあります。
- 会館の壁コンセントは「一般電源」ですが照明を明暗させるための調光電源では 100%送っても波形が乱れた電源しか供給できないものもあります。壁から直接の電源でない限り念のために会館職員に「パソコンなどを使っても大丈夫か？」と確認を取って利用することをお勧めします。
- 電子機器は適正な電気が供給されなければ正常に動作しません。電気があってこそ本来の機能を発揮できるので細心の注意が求められます。

3. バージョン2に追加された機能



1. 計測のタイミングを知らせるLEDランプ
 - 計測中は騒音計とリモコンのLEDが赤色から緑色に変化し点灯します。
2. デシベル表示だけでなくポイント表示に対応
 - 30-130dBを0-100ptへ変換して表示します。
3. 最大値更新をLED点滅とブザーでお知らせ
 - リモコンのLEDが赤色点滅と同時にブザーが鳴ります。
 - ブザーはリモコンのスイッチで切る事もできます。
 - 電源を切ると最大値のデータは初期化されます。
 - 最初の計測は最大値となります。

リモコンの[リセット]+[最大値]ボタンの同時押しでデータを削除できます。
4. ボタンひとつで最大値を呼び出せます。
 - リモコンの[最大値]ボタンを押す事で表示。[リセット]ボタンでリセット。
5. 記念撮影に便利な機能 任意値表示機能
6. かんたんリモコンと標準リモコンの2種類を装備
7. 自動モードでの計測時間とカウントアップ時間の詳細設定が可能
8. 外部電源の採用したことで12Vのバッテリー等での運用も可能に！

4. バージョン2.01に追加された機能

[設定]サムホイールスイッチの選択で下記の機能が選べます。

- リセット時にゼロを消灯できる。(3-7)-(3-7)-(1)
- 手動モード時にリアルタイム表示ができる。(表示は常に変化する)(3-7)-(3-7)-(2)
- 手動モード時にリアルタイム表示ができる。(表示はピークホールド(3-7)-(3-7)-(3)する)
- 計測中のくるくる点滅を消灯できる。(3-7)-(3-7)-(4)
- 効率よく大勢を計測する短縮モード(自動モードのみ有効)(3-7)-(3-7)-(5)

5. 設定が詳しくわからない時の設定はこれで！！



1. 動作設定は、左[A]から[D]へすべて[OFF]／[OFF] ／[OFF] ／[OFF]
　　<カウントアップ表示・手動操作・デシベル表示・大声測定>
　　スイッチの【I】側を押すとON、【0】側を押すとOFFです。
2. 詳細設定は、[550] 上の写真と同じに！
3. リモコンは標準型を使用して、ブザーはONにする。
4. 計測マイク、リモコンを接続してください。
5. 電源投入後に計測を行なっている場合は、利用前に、リモコンの「リセット」と「最大値」ボタンを同時に押して最大値のデータを削除してください。
　　液晶画面で「MAX_LEVEL 0 dB」を確認します。

※電源投入直後の表示は消灯です。リセットボタンを押す事でゼロが表示されます。
※途中で設定を変更したときは、必ずリセットボタンを押してください。

- ①：スタートボタンを押すと、計測開始。表示はクルクル回転。タイミングランプが緑に変化
 - ②：マイクに向かって大声で叫ぶ
 - ③：スタートボタンを押して、計測終了。タイミングランプが消える。
 - ④：スタートボタンを押して、結果発表。カウントアップで表示
 - ⑤：最大値の場合はタイミングランプが赤で点滅と同時にブザーが鳴る。
 - ⑥：スタートボタンを押して、リセット。表示がゼロに。
- 上記を繰り返す・・・

※最大値の扱いについて、同じポイントは最大値として扱う。表示も3回点滅する。

6. 液晶画面の表示と動作内容

●カウントアップ表示 (C)、マニュアル操作 (M)、デシベル表示 (D)、大声測定 (O)

スタート(計測開始)	ストップ(計測終了)	オープン(結果発表)	リセット(初期化)
表示面はクルクル	表示面は消灯	カウントアップして表示	表示面は消灯

●一発表示 (I)、自動操作 (A)、デシベル表示 (D)、大声測定 (O)

スタート(計測開始)	ストップ(計測終了)	オープン(結果発表)	リセット(初期化)
表示面はクルクル	表示面は消灯	即表示	表示面は消灯

●最大値を表示させる

	最大値 (MAX_LEVEL = 125dB)	リセット状態であるため表示は消灯
	リモコンの最大値ボタンを押す	125 と表示
	リモコンのリセットボタンと最大値ボタンを同時に押す (MAX_LEVEL = 0dB)	最大値削除

※計測中にキャンセルを行なった場合、発表前であれば、それまでに最大値は影響を受けません。また、最大値がゼロの場合、最大値ボタンを押すとゼロ・ゼロと表示してデータが初期値であることが分ります。リセットボタンを押すとゼロと表示します。そのままスタート (計測開始) しても問題はありません。

●デシベル表示とポイント表示

	デシベル表示(dB) 表示範囲: 30 dB から 130 dB
	ポイント表示(Pt) 表示範囲: 0 Pt から 100 Pt

※100 以上の数値がでない。30 未満の数値が出る。その場合はポイント表示 (Pt) スイッチが ON になっています。通常の大声はデシベル表示 (dB) が一般的に利用されます。

●任意値を表示させる

サムホイールスイッチを使って任意値（000-199）を設定。[スタート]ボタンで操作します。

※設定は 999 まで出来ますが、199 以上は正しく表示されません。

スタート	ストップ	オープン(任意値発表)	リセット
表示面はクルクル	表示面は消灯	カウントアップ表示	表示面は消灯

設定値は、SET_LEVEL の値で確認できます。

●リアルタイムで表示させる

設定(552)	手動モード時のみ有効 リアルタイム
設定(553)	手動モード時のみ有効 リアルタイムホールド（最大値を保持）

※リアルタイム表示の計測開始はスタートボタンで。ストップ、オープン、リセットの機能も有効

※デシベル表示(dB)、ポイント表示(Pt)は自由に選べます。

●リセット時にゼロを消灯したい。(3-7)-(3-7)-(1)

●計測中のくるくる点滅を消灯したい。(3-7)-(3-7)-(4)

●効率よく大勢を計測する短縮モード(自動モードのみ有効)(3-7)-(3-7)-(5)

短縮モードとは、リセットの行為を除いき多くの人に参加してもらうための機能です。

利用シーンに合わせてご利用ください。

- ボタンを一度押したら計測→ストップ→発表、もう一度押したら計測→へ
- リセットをなくして効率を上げる。
- スタンドに取り付けたボタンを本人が押して簡単に計測させることもできます。(オプション)
- 自動モードのみ 時間調整はできません。
- 計測時のくるくる点滅は発声するタイミングを計るために OFF にはできません。
- カウントアップ表示／一発表示 設定可能
- デシベル／ポイント 設定可能

7. 機材の内訳

品名	画像	数量
●表示器		1台
●計測マイク		1台
●マイクコード青 10m		1本
●リモコンスイッチ 5m		2本
●ACアダプタ+コード		1本
●表示器スタンド ●計測マイクスタンド		各1本
●マニュアルほか		一式

8. 組立図

【重要】 全ての接続を終えてから電源を投入してください。

【重要】 片付けや配線変更の際は電源を切った後に作業を行ってください。

- ①：本体スタンドへ本体をのせる。
- ②：計測マイクスタンドへ計測マイクをのせる。
- ③：計測マイクとマイクコード青をつなぐ。
- ④：マイクコード青を本体へつなぐ。
- ⑤：本体へリモコンスイッチをつなぐ。
- ⑥：本体へ電源コードをつなぎ、電源を供給する。



※電源電圧：100V 50Hz～60Hz

※消費電力：100W

9. 組立手順

<p>① マイクスタンド</p> 		
<p>② ロックピン</p> 	<p>③ アームの上部</p> 	<p>③ 本体の底面</p> 
<p>④アームを差し込む</p> 	<p>⑤ 完成</p> 	<p>※支柱を伸ばし過ぎると不安定になるので転倒防止に配慮してください。</p> <p>※伸ばしたあとに、本体をのせてください。</p>
<p>① アームを回して取り付ける</p> 	<p>② 向きと高さを調整</p> 	<p>③ 完成</p> 

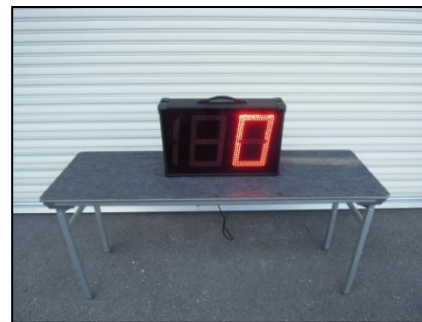
10. 設置に関する注意事項

※危険回避！

表示器は、周囲の状況を考慮しスタンドの高さや設置方法を決めてください。また、風の影響を受けるような場所では、ウエイトやゴム紐等を利用し転倒しないような対策を施してください。画像にあるような長机の上に配置することも一つの方法です。



強風下ではブロック等を利用する



長机へ載せた表示機

1 1. コネクタの接続方法

コードをもって抜き差ししないでください。



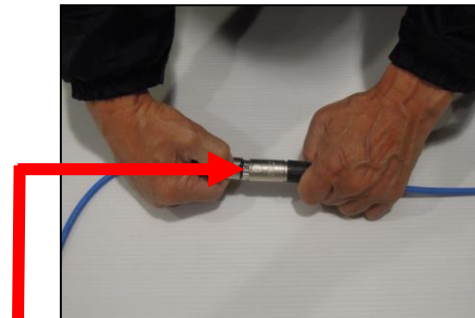
<計測マイクケーブルの接続>
カチッと音がするまで差し込む



<計測マイクケーブルを外す>
金具ピン(ロックピン)を押しながらプラグを抜く



<計測マイクと計測マイクケーブルを接続>



<ロックピンを押しながら外す>
金具ピンを押しながらプラグを抜く



<リモコンケーブルの接続>
マークを上にしてカチッと音がするまで差し込む



<リモコンケーブルを外す>
一番太い部分を持って手前に引っ張り抜く



<電源コードの接続>
本体を持って差し込む



<電源コードを外す>
本体を持って抜く

1 2. 表示器パネルの説明



【A】－ [マイク] 計測マイクを接続

【B】－ [リモコン] リモコンスイッチを接続

【C】－ [液晶調整] コントラスト調整

【D】－ [操作設定] ※ロッカースイッチ

【E】－ [電源入力] ACアダプタを接続 12V5A

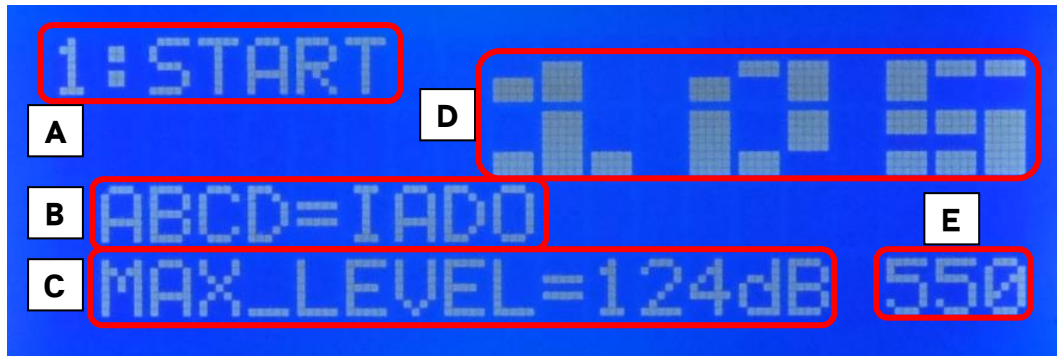
【F】－ [ランプ&スイッチ] 電源ランプ&スイッチ (スタート)

【G】－ [信号] オプション

【H】－ [詳細設定] デフォルト設定値：550 ※サムホイールスイッチ

【I】－ [液晶画面] 各種動作情報を表示

1 3. 表示器液晶パネルの説明



【A】－ [動作表示]

1 : スタート、2 : ストップ、3 : 表示、4 : リセット、5 : 最大値、6 : 最大値消去

【B】－ [操作設定表示]

[動作設定] ロッカースイッチ左から [A]－[B]－[C]－[D]

スイッチ[A] OFF : カウントアップ表示(C) ON : 一発表示(I)

スイッチ[B] OFF : 手動操作(M) ON : 自動操作(A)

スイッチ[C] OFF : デシベル表示(D) ON : ポイント表示(P)

スイッチ[D] OFF : 大声測定 (0) ON : 任意値表示(N)

※任意値表示のときは、時間微調整は機能しないで自動的にデフォルト値(550)となる。

※スイッチの【I】側を押すとON、【0】側を押すとOFFです。

【C】－ [最大値表示]または [任意値セット表示]

【D】－ [パネル表示の値]

【E】－ [詳細設定表示]

[詳細設定] サムホイールスイッチ **デフォルトは550**

百の位 計測時間微調整 デフォルト【5】 <設定範囲：3-7> 3:短い 7:長い

十の位 カウントアップ時間微調整 デフォルト【5】 <設定範囲：3-7> 3:短い 7:長い

一の位 デフォルト【0】 ← ここを変更することで機能が変わります。

※時間の微調整は自動モード時のみに機能します。

※スイッチ[D](ON) 任意値表示のときは、時間微調整は機能しないでデフォルト値となる(550)

※各桁右側の突起を上下することで値を変更します。

※設定範囲には条件があります。誤設定は誤動作の原因となるためご注意ください。

14. リモコンスイッチとタイミングランプ



<リモコンスイッチ>

左：標準型リモコン 右：かんたんリモコン



<タイミングランプ>

標準型リモコン

スタートとリセットのほかに、最大値呼び出しボタン、タイミングランプ、ブザーなどを装備

かんたんリモコン

スタートとリセットの2つのボタンで操作



タイミングランプは、参加者がどのタイミングで大声を出していいか分かりやすくします。これまでよく見られる「司会者がはい！と言ったら・・・」や「司会者が肩を叩いたら・・・」というシーンをスマートなものに変えます。

15.2種類の操作モード

●手動操作（液晶表示B枠にMと表示）

	①スタート	②ストップ	③オープン	④リセット
操 作	ボタンを押す	ボタンを押す	ボタンを押す	ボタンを押す
内 容	計測開始	計測終了	結果発表	リセット
表 示	回転	消灯	表示（※1）	ゼロ表示

リモコンの[スタート]ボタンを押す度に、スタート（計測開始） → ストップ（計測終了） → オープン（結果発表） → リセット（初期化）を自由なタイミングで進行できます。キャンセルする場合は、途中で[リセット]ボタンを押す。

●自動操作（液晶表示B枠にAと表示）

	①スタート	② → → →	③	④リセット
操 作	ボタンを押す	→	→	ボタンを押す
内 容	計測開始	計測終了	結果発表	リセット
表 示	回転	消灯	表示（※1）	消灯

※1：設定（カウントアップ表示／一発表示）に従い表示

- ・カウントアップ表示とは、ゼロから計測値へ加算しながら演出発表
- ・一発表示とは、結果発表と同時に計測値を表示

サムホイールスイッチの詳細設定（デフォルトは550）に対応して、リモコンの[スタート]ボタンを一回押すと自動的に、スタート（計測開始） → 待ち時間 → ストップ（計測終了） → 待ち時間 → オープン（結果発表）へ進みます。オープン後に[スタート]ボタンを押す事でリセットします。キャンセルする場合は、途中で[リセット]ボタンを押す。

自動操作か手動操作かで悩んだときは、手動を選んでください。自動操作はタイミングが固定で進行していくので、直ぐに大声を出さない場合は、計測のタイミングを逸してしまいます。手動は手間は掛かりますが状況に応じて臨機応変に対応できます。

※計測中にキャンセルを行なった場合、発表前であれば、それまでに最大値は影響を受けません。

16. 表示

①スタート	②ストップ	③オープン	④リセット
 <p data-bbox="180 501 403 539">〔くるくる回転〕</p>	 <p data-bbox="587 501 683 539">〔消灯〕</p>	 <p data-bbox="922 501 1018 539">〔表示〕</p>	 <p data-bbox="1233 501 1393 539">〔ゼロ表示〕</p>
		 <p data-bbox="834 786 1121 824">〔最大値更新：点滅〕</p>	
		 <p data-bbox="834 1077 1121 1115">〔最大値更新：点滅〕</p>	

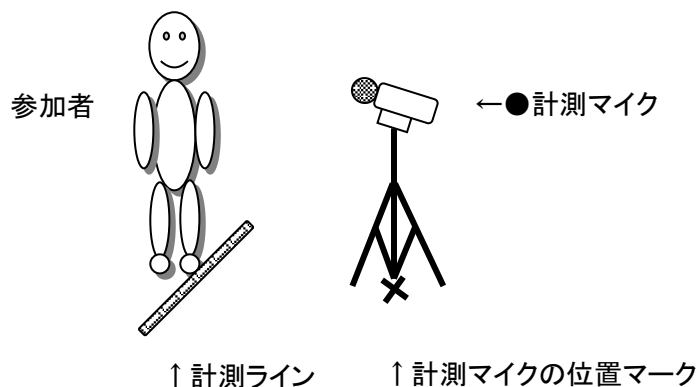
※③結果発表：最大値更新でない場合は消灯します。

		
---	---	---

※標準型リモコンのLEDとタイミングランプは同じ動きをします。

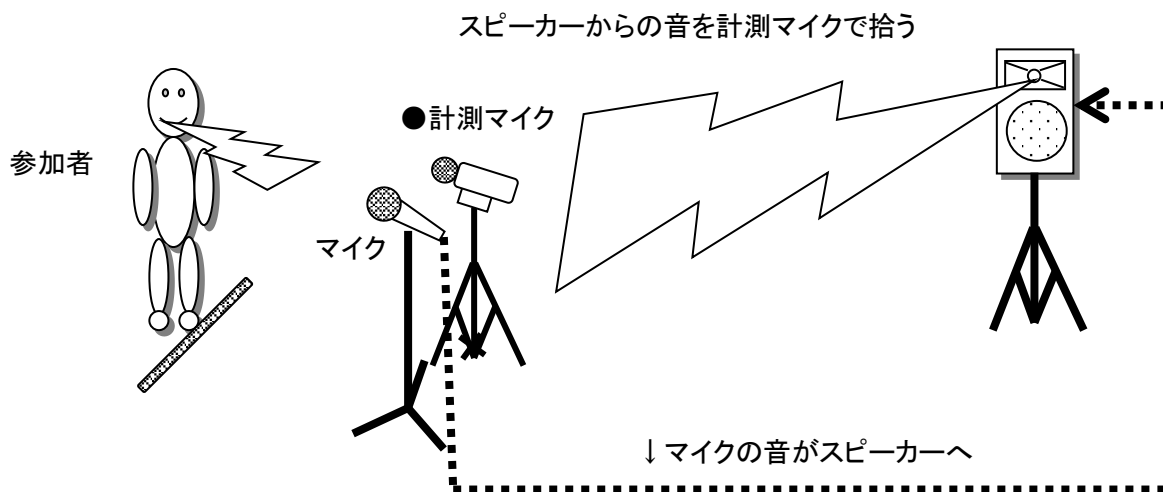
17. 大声計測の注意

マイク・スピーカーなどの音響機器を利用している場合は、計測中は大きな音を鳴らさないようにしてください。具体的には、叫ぶタイミングを参加者へマイクを通じて司会者が指示すると、その司会者の声を計測マイクが拾い、正しい計測ができなくなります。機器を操作する方は、事前に司会者とタイミングや表示方法について打ち合わせを行うようにしてください。



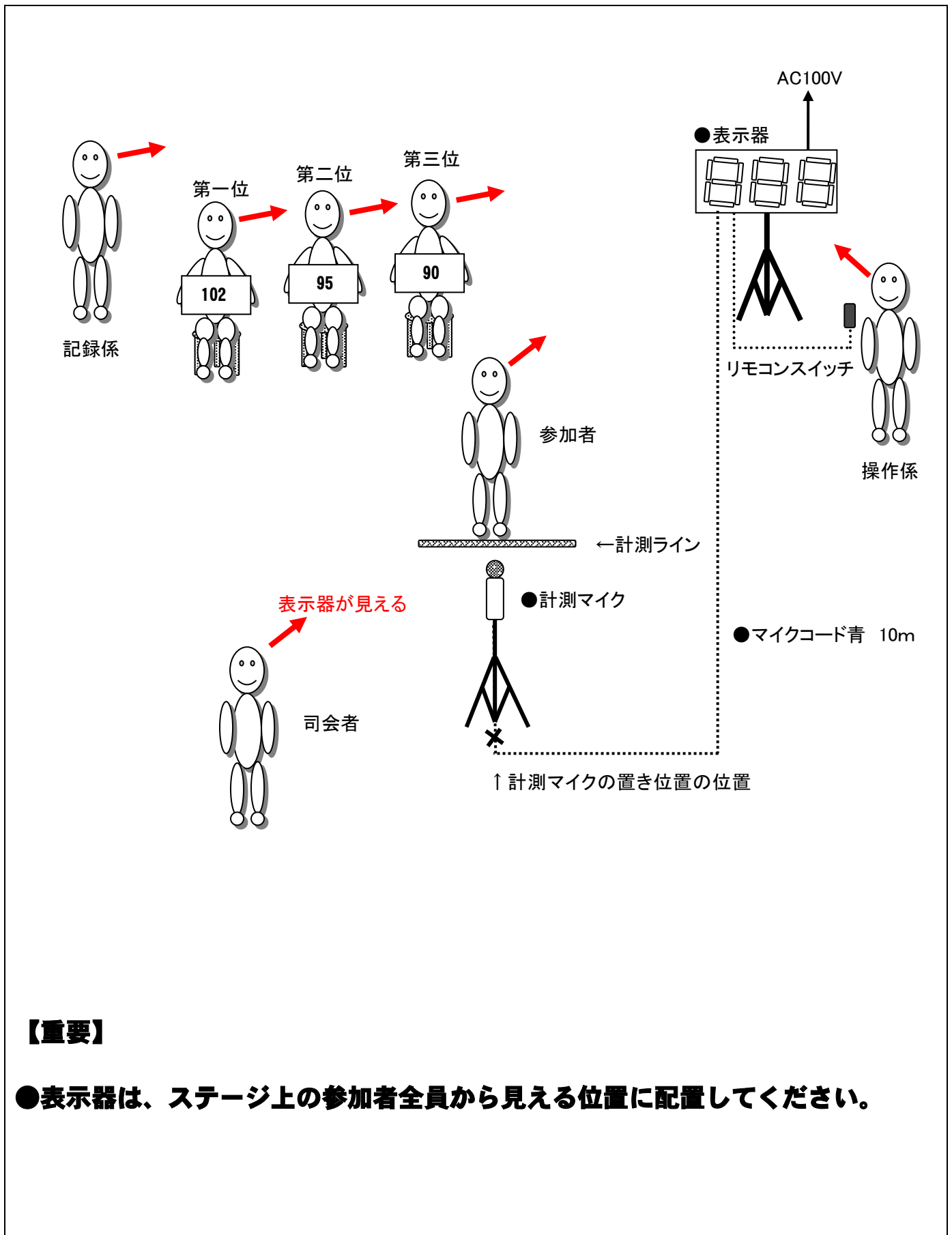
- ※ 計測マイクと口元の距離は1メートル以上離してください。
- ※ 「よくある質問と答え」を参考にしてください。

会場全体に参加者の叫びを届けるため、計測マイクの近くに音響マイクを配置することがありますが、周囲の状況や音響調節によっては、スピーカーの大きな音を計測マイクが收音するということになります。利用する場合は、事前にテストを行い影響の有無を調べてください。



計測マイクは無指向性（すべての方向からの音を拾う）ですので、マイクの向きに敏感になる必要はありませんが、マイクまでの距離は結果に大きな影響を及ぼします。そのため、大人と子供で計測マイクの高さを調節、計測マイクまでの距離を参加者で公平にするため足元にラインを引く、これ以上口元が前に出ないように工夫するなどしてください。

18. よくある配置



【重要】

●表示器は、ステージ上の参加者全員から見える位置に配置してください。

19. 手動操作による進行例

大人も子供の大きな声で叫びましょう！叫ぶテーマは〇〇です。大声はあちらにある表示器にデシベルで表示しま〜す。みんなの声はヘリコプターよりも大きいかなー！？ さて、一人目の方です。お名前は？どこから来たの？・・・ このラインから前に出ると失格となりますので注意してください。大きな声の一番大きな値を計測します。さあ準備は出来たかな？ では 一人目の〇〇さんです。どうぞ！

- ・操作係 リモコンでスタートボタンを押す（表示回転）
- ・参加者 叫ぶ
- ・操作係 叫び終わったらスタートボタンを押す（表示消灯）
- ・司会者 では、結果を見てみましょう！
- ・操作係 スタートボタンを押す（設定に従い計測値を表示）
- ・司会者 わー 〇〇デシベルです。
- ・司会者 参加者の感想など・・・
- ・操作係 スタートボタンを押す（ゼロ表示）

参考資料

音の大きさのめやす	
120デシベル	飛行機のエンジン近く
110デシベル	自動車のクラクション（前方2m）
100デシベル	電車の通るときのガード下
90デシベル	大声による独唱, 騒々しい工場内
80デシベル	地下鉄の車内（窓を開けたとき）・ピアノ
70デシベル	掃除機・騒々しい事務所
60デシベル	普通の会話・チャイム
50デシベル	静かな事務所
40デシベル	深夜の市内・図書館
30デシベル	ささやき声
20デシベル	木の葉のふれあう音

人間の耳で感じる音の大きさは、同じ物理的な強さの音でも、周波数の高低により異なった強さの音に聞こえることがあります。

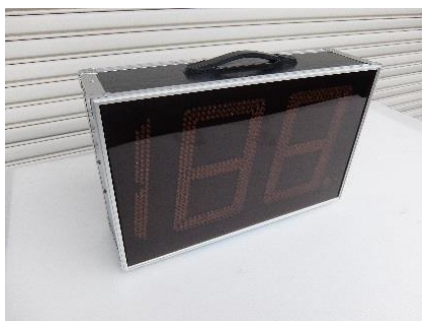
そこで、人間の耳に感じる音の大きさに近似させた量を計測しています。計測した数値を騒音レベルといい、単位を「デシベル」が使われます。

（提供）東京都環境局

20. 各機材の寸法と重量

	<p>■本体＋スタンド</p> <p>本体底面までの高さ 最大：1300mm 最小：750mm</p>
	<p>■計測マイク＋スタンド</p> <p>マイク集音部までの高さ 最大：1490mm 最小：640mm</p>
	<p>■本体</p> <p>縦：340mm 横：535mm 奥行：185mm(145mm) 重量：7kg</p>

※寸法や重量は多少の誤差がありますことをご了承ください。



ブラックタイプの外に、奥行きが少し薄めのシルバー枠のタイプもございます。



梱包サイズは 830mm×360mm×410mm

運送サイズ：160cm

21. あと片づけのお願い ネジが無くなるので締めてね。

【とても大切なこと】

ケーブルの信頼性こそ生命線

プロの方以外、ケーブルは巻かずに

一本ずつ箱に入れてお返してください。

- 正しい8の字巻きができない
- 腕に巻きつけて巻く
- 二つ折りを繰り返して最後に結ぶ
- 極端に小さく巻く



これらはケーブルに癖をつけ、見た目が悪くなるばかりか、スムーズな作業ができないだけでなく、信頼性の低下にもつながります。一度ついた癖は取れません。



巻かずに投げ込んでください



結ぶのは絶対にやめて



正しい巻き方をしないと
左のように癖がつきます。

上記の約束を守って頂く事を条件にレンタルしております。

あまりに酷い巻き方や返却状況については、その損害を弁償してもらう場合もありますのでご注意ください。ご協力よろしくお願いいたします。

2.2. 機材チェックシート（見本）

－ 3桁簡易型 大声測定器機材チェックシート －

- この度は、3桁簡易型大声測定器バージョン2.01のご利用ありがとうございます。
- 最初に機材数を確認して取扱説明書に従いお取扱ください。
- **利用後のケーブルは巻かずに返却してください。**

レンタル先:		お届け予定日 : 年 月 日			
		ご利用日 : 年 月 日			
		返却発送日(厳守) : 年 月 日			
品名		基本数(追加数)	発送確認	受取確認	発送確認
本体		1台()			
計測マイク		1台()			
マイクコード青 10m		1台()			
リモコンスイッチ 5m		2本()			
ACアダプタ+コード		1本()			
計測マイクスタンド(袋入)		1本()			
表示器スタンド(袋入)		1本()			
マニュアルー部(要返却)		一冊()			
運送伝票		1枚()			

動作確認				
見た目の異常				
(具体的に記入)				

アンケート とても満足・満足・普通・不満・とても不満 (○で囲む)

- ご意見、ご希望、ご感想などありましたらご記入ください。

23. よくある質問と答え

大声大会に必要なものは何でしょうか

- ・長机、イス、電源
- ・音響設備 司会用マイク
- ・参加者の得点表示板とマジックペン
- ・スタッフ（司会 マイク係 得点係など）
- ・賞金、賞品、表彰状

計測マイクの向きで計測結果がどの程度影響されますか

無指向性のマイクになりますのである程度口元へ向けておくことで計測に大きな影響はありませんが、距離が変わると値が大きくなるため注意が必要です。

計測マイクとの距離はどのくらいがいいですか

身長のあるなしでマイクとの距離は変化しますので大人の部と子供の部で高さは調節した方がよいでしょう。一般的な計測に音源から1メートル離れて何デシベルという方法が用いられますが、イベントでするので大きな声の人に叫んでもらって100デシベル前後になる距離がよいかと思います。次回も同様のイベントを行う場合にはマイクとの距離を同じにすると比較できます。

計測の単位は何ですか

デシベル (dB) です。計測マイクの仕様上、計測範囲は30dBから130dBになります。イベントのテーマに応じた架空の単位を用いるのもいいでしょう。30dBから130dBを0ptから100ptへ変換してポイント表示できるモードを装備しました。

計測マイクコードは延長できますか

簡易型はコードの長さは10mで延長はできません。同じ形状のコードで延長した場合は正しい値が表示されない場合や機器を破損させる場合もありますのでおやめください。各機器の距離を離したい場合は「標準型大声測定器」で対応できますので、事前にお問い合わせください。

リモコンスイッチのコードは延長できますか

簡易型はコードの長さは5mで延長はできません。また同じ形状のコードで延長した場合は機器を破損させる場合もありますのでおやめください。各機器の距離を離したい場合は「標準型大声測定器」で対応できますので、事前にお問い合わせください。

いつ最大値はされるのですか

計測開始から計測終了までの間の最大値で、その間の平均値ではありません。一時的にでも大きな声を出したらその値を最大値として結果発表することになります。

ウインドスクリーンは何のため

風の音を防ぐためのもので常に付けておいて問題はありません。

同じ値は最大値として扱いですか

その通りです。

最大値は本体に記憶されていますか

記憶していません。電源が切れると消えます。

タイミングランプは消せますか

消せません。消したい場合は、黒のビニルテープ等で隠すなどしてください。

効果音の機能はありますか

簡易型のためありません。「標準型大声測定器」で対応できますのでお問い合わせください。

4桁表示できる大声測定器はありますか？

「標準型大声測定器」で対応できますのでお問い合わせください。

拍手の大きさを審査に使えますか？

計測マイクを配置した場所が広く全体の拍手を集音できる場所で、且つ、計測マイクの近くで一部の人の拍手や物音が大きく収音されない環境と拍手だけしてもらう条件が整えば利用できると思います。実際に利用された方もいらっしゃいます。

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

四国電飾工芸

電話 (088) 843-1601

携帯電話 090-3041-6033